



2018.11 / Vol. 38 / Soccer Journal デュッセルドルフ生活を楽しくするマガジン

# フォルトゥナ通信

FORTUNA AKTUELL - Japanese Version



» TAKA TALK «

## 宇佐美貴史

TAKASHI USAMI

## フォルトゥナDNA

FORTUNA-DNA

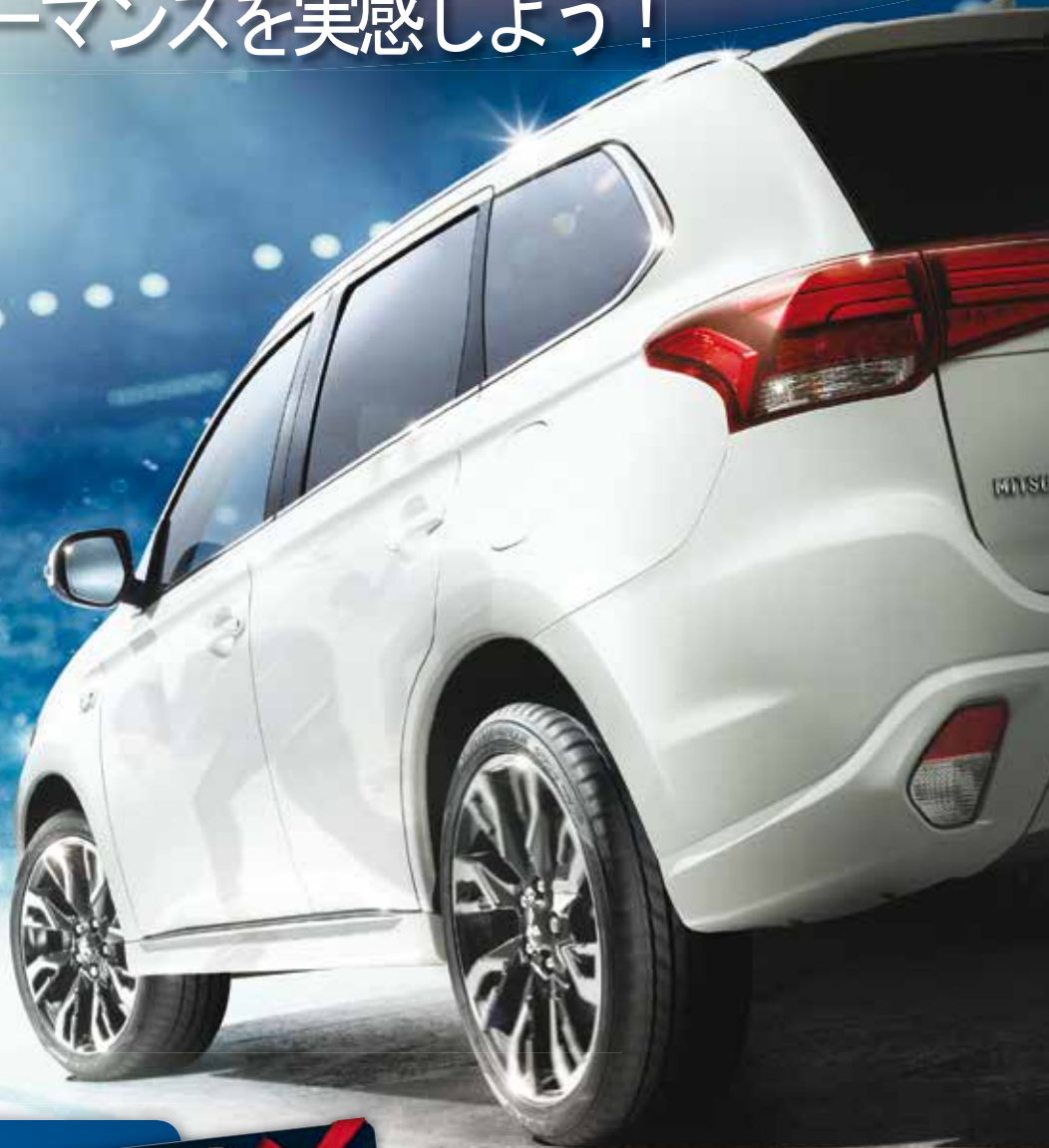
## ドイツ杯3回戦はFCシャルケ04に決定!

DFB-POKAL-ACHTELFINALE BEIM FC SCHALKE 04





冬の走りに、驚きを。  
最高のパフォーマンスを実感しよう！



80€



タイヤ4本(17インチ以上)購入で、  
€80のバウチャーをプレゼント！

対象期間：2018年10月1日～2018年11月30日

登録はこちらから：[www.toyo.de/voucher](http://www.toyo.de/voucher)

**TOYO TIRES**



# 子供たち一緒に精一杯応援していきます。

## Wir werden mit den Kindern Fortuna unterstützen

デュッセルドルフ日本人学校 中田朗弘校長

Akihiro Nakada, Direktor der japanischen internationale Schule e.V. in Düsseldorf

2018年4月にデュッセルドルフ日本人学校に校長として赴任しました中田朗弘と申します。一時「サッカー王国」と呼ばれたこともある静岡県から来ました。私自身25年近く中学校のサッカー部の監督をしていました。また、県東部地区のサッカー協会の仕事をする傍ら沼津トレーニングセンターという組織の指導者、最後には代表をさせてもらいました。沼津トレーニングセンターからは多くのJリーガーを輩出し、小野伸二、内田篤人という2名の日本代表選手も出ました。そんな私の赴任先がデュッセルドルフ日本人学校と聞かされたとき、すぐに頭に浮かんだのがフォルトナ・デュッセルドルフでした。当時は宇佐美貴史選手だけでなく原口元気選手や金城ジャスティン俊樹選手も在籍しており渡独が

とても楽しみでした。デュッセルドルフでの生活が始まった途端耳にしたのが、フォルトナの一部昇格の吉報でした。まだ何が何だかわからない状態でしたが、アルトシュタットで見ず知らずのドイツ人たちと祝杯を挙げている自分がいました。これからも本校の子どもたちと一緒に、精一杯フォルトナ・デュッセルドルフを応援していこうと思います。

最近、日本のテレビ番組を観ていた時、宇佐美選手が出演して河本光善さんのことを語っている場面がありました。番組の中で青山学院大学の原陸上部監督が自己主張の強い選手を受け入れられなかったことに対して「スポーツ指導者を代表してお詫びします」という言葉があり、感銘を受けま



した。日本人の良さである「協調性」も大切にしながら、しっかり自己主張できる子を育て、子どもたちの持つ可能性を大事にしていきたいと日本人学校の校長として胸に刻みました。

### Impressum



**Herausgeber 発行元:**  
Fortuna Düsseldorf 1895 e.V.  
Ringer Broich 87  
40235 Düsseldorf

**Leitung 情報管理:**  
Thomas Gassmann  
(medien@f95.de)

**Chefredaktion 編集長:**  
Gengo Seta  
(japandesk@f95.de)

**Fotos 写真:**  
Christof Wolff, Gengo Seta

**Layout レイアウト:**  
Christian Lewandowski

**Druck 印刷:**  
Clasen GmbH





# 6年振りのブンデスリーガ開幕戦は惜敗。

Knappe Niederlage im ersten Bundesliga-Spiel seit sechs Jahren



6シーズン振りにブンデスリーガ1部で開幕を迎えたフォルトウナは、第1節FCアウグスブルク戦(1-2)、第2節ライプチヒ戦(1-1)で、続けて先制ゴールを奪うパフォーマンスを披露するなど、1部リーグでも十分に戦っていくことができることを証明した。

2012/13シーズン以来、6年振りにブンデスリーガ1部の舞台にフォルトウナが戻ってきた。奇しくも6年前と同じ対戦カードとなったFCアウグスブルクとの開幕戦は、約41000人の観客が見守る中でキックオフを迎えた。

しかし試合は、立ち上がりからアウグスブルクの猛攻を受ける展開となり、フォルトウナは防戦一方の時間が20分以上続くこととなる。それでも徐々に1部リーグのスピードに慣れ始めると、逆にフォルトウナのカウンター攻撃が機能し始め、39分にはベニート・ラマンがゴールネットを揺らすことに成功する。最高の形で前半を折り返したフォルトウナだったが、後半に入ると再び相手のパワー

プレーに押し込まれ始める。そして一瞬のマークのずれを突かれ、そこから2失点。これが響き、結局開幕戦は悔しい逆転負けとなってしまった。

続く第2戦は、アウェーにて強豪ライプチヒとの対戦。厳しい試合が予想された中でキックオフを迎えたが、フォルトウナが立ち上がりから攻勢に出る。しかし立て続けのシュートチャンスは、相手GKの好セーブに阻まれ、得点を奪うことはできない。それでも前半は互角の攻防を見せ、スコアレスのままハーフタイムを迎えることに。

後半が始まると、立ち上がりの攻撃がフォルトウナファンに歓喜をもたらすことに。46分、ロウヴェ

ン・ヘニングスとマーヴィン・ドゥクシュが素晴らしいコンビネーションを見せると、最後はマティアス・ツィマーマンが技ありのシュートを決め、今節でもフォルトウナが先制を奪うことに成功する。これに対しライプチヒも激しい攻撃を仕掛けてきたが、フォルトウナディフェンス陣も身体を張ってこれに対抗する。それでも68分、左サイドから突破を許すと、最後はジャン・ケヴィン・アウグスティンに押し込まれて同点に。結局試合は、両チーム1点を取り合う形でタイムアップを迎えたが、これによりフォルトウナは今季初の勝ち点1点を獲得しただけでなく、1部リーグの舞台でも十分に戦っていることを証明することとなった。



## CL出場クラブから今季初勝利！

### Erster Sieg gegen einen Champions-League-Teilnehmer

開幕からの2試合で好パフォーマンスを披露した昇格クラブのフォルトゥナは、第3節はホームに戻り、今年のCL出場クラブであるTSG Hoffenheimを迎え撃つことに。試合は攻撃力で勝る Hoffenheim がフォルトゥナ陣内で次々に決定機を作り出すも、GK ミヒャエル・レンジングを中心に、失点は許さない展開に。すると前半終了間際のカウンター攻撃から、フォルトゥナのアルフレッド・モラレスが頭で先制ゴールを決めること成功する。

後半に入っても相手の強力な攻撃陣に対し、1点のリードを守っていたフォルトゥナだったが、86分に同点を奪われてしまう。しかしその2分後、途中投入されたケナン・カ

ラマンが倒されて得たPKを、ドディ・ルケバキオがきっちりと決めて再び勝ち越すことに。そしてこれが決勝点となり、フォルトゥナが今季の初勝利を挙げることとなった。

前節に勝ち点3点を奪い、自信を持って挑んだアウエー VfB シュトゥットガルト戦は、前半から激しい攻防戦に。しかし両チームともにGKが好セーブを見せ、どちらにもゴールは生まれない。後半に入りさらに攻勢を強めたフォルトゥナは、次々に決定機を作り出していくも、元ドイツ代表GK ロン・ロベルト・ツィーラーが素晴らしいセーブを連発し、なかなかゴールを奪うことができない。そして試合は結局スコアレスのままタイムアップを迎え、勝

ち点1点ずつを分け合うこととなった。

ここ3試合で無敗を貫いていたフォルトゥナは、ホームに戻りバイヤー04 レヴァークーゼンを迎え撃つことに。代表選手を多く抱える強豪クラブを相手に、勇気を持って勝負を挑んだフォルトゥナが、予想に反して前半から相手を圧倒し、多くのシュートチャンスを作り出す。しかしそれらの決定機を決めきれないと、後半の立ち上がりの10分間で、ドイツ代表FWのケヴィン・フォルランドに続け様にゴールネットを揺らされてしまう。結局この決定力の差が敗因となり、フォルトゥナが0-2で、今季2敗目を喫することとなってしまった。







## 6連敗でも諦めないフォルトウナが待望の勝利。

### Wichtiger Erfolg nach sechs Niederlagen in Folge

第6節、アウェーで同じ昇格クラブである1.FCニュルンベルクと対戦したフンケル監督は、今季初めて宇佐美貴史をスターティングメンバーに起用する決断を下す。しかし前半28分にルケバキオのファールからPKを与え、失点。そのルケバキオは4分後にカウンターから相手GKと1対1を迎えるも、こ

の決定機を活かしきれないと、後半にはディフェンスラインのミスからさらに2点を奪われ、試合は0-3の敗戦となった。

ホームに戻りFCシャルケ04戦を迎えたフォルトウナは、超満員となったメルキュア・シュピールアリーナで、前半から積極的な攻撃を披露する。しかし、GKとの1対1をラマ

ンが決められないと(4分)、その後も次々と訪れる決定機を活かすことができない。すると再び後半早々に立て続けに失点を重ね、苦しい展開に。試合終盤にはマルチン・カミンスキがヘディングでゴールネットを揺らすも、これはオフサイドの判定。そうして再び無得点のまま、タイムアップを迎えてしまった。







得点不足に苦しむフォルトウナは、続いてはアウエーでアイントラハト・フランクフルトと対戦。しかしこの試合は相手のゴールラッシュにあうことに。前半だけでPKを含む3失点を喫すると、後半にもさらに4点を奪われることに。一方のフォルトウナはルケバキオが1点を返すのみとなり、1-7の大敗で、帰路に着くこととなった。

なんとか勝ち点を得たいフォルトウナだったが、続く第9節のVfLヴォルフスブルグ戦、第10節のボルシア・メルヒェングラッドバッハ戦では、どちらもハンドの判定からPKを献上し、そこから失点を重ねて

しまう。そして攻撃陣は沈黙し、3試合連続で得点を奪うことができないまま6連敗となってしまった。

背水の陣で迎えたホームでの第11節ヘルタ・ベルリン戦、フンケル監督はこれまで全ての試合にスタメン出場してきたカーン・アイハンとモラレスを外す決断を下す。試合は前半終盤に、ヘルタのマキシミリアン・ミッテルシュテットが2枚目のイエローカードで退場処分となる展開に。

すると後半、ついにフォルトウナの攻撃陣が爆発する。その口火を切ったのは、2試合連続スタメン

となった宇佐美貴史。左サイドからニコ・ギーゼルマンのパスを受けた日本人アタッカーは、ワントラップから素早く左足を一閃。ボールは相手ゴールネットに突き刺さり、アリーナが歓喜に包まれることに(50分)。さらに63分には、ツィマーからのスルーパスを受けたツィマーマンのセンタリングをヘニングスが押し込み、リードを2点に広げると、試合の終盤にはジョーカーとして投入されたラマンがさらに2点を追加。そして終わってみれば4-1の快勝を収め、今季2勝目を挙げるとともに、連敗を6で止めることに成功した。





» TAKA TALK «



宇佐美貴史

33 / Takashi Usami



フォルトウナで2シーズン目を迎えた“タカ”こと宇佐美貴史。自身4度目のブンデスリーガ1部の舞台での戦いに挑んでいるが、そんなタカに「TAKA TALK」と題して、定期的に話を聞いていく。昇格クラブとしての難しさを感じつつ、ここまでの戦いや、個人的な目標、ファンへの思いを語ってくれている。

チーム合流が遅れたこともあり、最初はなかなかメンバー入りできなかったね。

今年はW杯があったので、夏の(2回の)キャンプに参加できませんでした。フンケル監督は、遅れて合流した選手や怪我で離脱した選手にも、そのほかの全選手がこなした走り込みのメニューを消化しないと、試合には使わないと言ってたので。しばらくの間はチーム練習に加えて個別トレーニングのメニューにも取り組んで、徐々にコンディションを上げていきました。

ようやく初スタメンで出た1.FCニュルンベルク戦は0-3の敗戦に。

バイヤー04レヴァークーゼン戦(第5節)で途中出場をして、第6節でようやくスタメンのチャンスをもらいました。自分としては基本的には、ボールを動かしてリズムを作りたいって思っているの。この試合でも何でもかんでも仕掛けるんじゃないくて、簡単にパスしてまた受けて、ってやりたかったんですけど、実際はなかなかパスが戻って来なくて。その結果、試合も負けてしまい、自分のプレーも消極的に映っちゃったなと反省しました。

6連敗という苦しい状況で考えていたことは？

メディアや周りがいろいろと言っていましたけど、ボクたちは昇格チームだし、難しいシーズンになることは最初からわ

かっていましたから。惜敗しようが大敗しようが、切り替えて次の試合で勝利を目指す、この繰り返しだと思っていました。

そんな中、日本人学校2年生から選手たちに似顔絵が届いたよね。

そうそう、選手それぞれに子供たちが書いてくれた似顔絵が届いて。ロッカールームでみんなで見たんですけど、子どもって正直でしょ。ボくら、こういう風に見えるんだなって(笑)。ときに残酷なくらいははっきり特徴を表現してくれて。そっくりな絵もたくさんあって、そりゃもう、みんなで爆笑しちゃいましたし、(6連敗中だった)ロッカールームに笑顔が溢れました。些細なことですけど、チームに良い雰囲気をもたらしてくれたという意味でもとても感謝です、ありがとう！

(勝利したヘルタBSCは)ドイツ杯も含めて3試合連続スタメンだったけど。

ニュルンベルク戦のあと、一度スタメンから外されちゃったんですけど。そのときフンケル監督からは、運動量の部分も指摘されてました。ボくらは練習でも走行距離やスプリント回数などをチェックされているんですけど、監督は練習からそういう部分にもっと改善してくれ、と。昨季の良かった時期はもっともっと走っていたぞ、と言われてました。それから練習でもより意識して走るようにしたら、練習試合で良い結果が出たりし

て、そしてドイツ杯でまたチャンスがありました。昇格チームとしてディフェンスの部分はマストなので、相手ボールのときは自分の(左)サイドからは絶対やられないぞという気持ちで、しっかりとディフェンスをやることで、信用してもらえるようになってきているかなという部分はあります。

そしてヘルタ戦で、スーパーゴールがうまれた。

(相手に退場者が出て)1人多くなった状況だったので、監督からは左右に大きくボールを動かして相手をしっかり走らせよう、と。そんな中で、ニコ(ギーゼマン)から良いパスが来たんです。とにかくトラップが完璧だった。それが全てです。ボくらもファンも、長いこと得点を奪えていなかったの、フラストレーションがたまっていたので。そういう気持ちも含めて、思いっきり蹴りました。正直コースは狙ってません。決まった瞬間は一気に感情が爆発しました(笑)。

今年の残り試合について、そして後半戦に向けて思うことは？

とにかくやり続けることですね。残留争いが続くことは明確ですから。そしてそういう中で残留できるチームって、(残留争いの)ライバルとの直接対決で負けないうことだと思っています。個人的には、冬はキャンプから一緒にスタートできると思うので、後半戦は出遅れないようにしたいです。とにかく結果を出しながら、残留という目標達成に貢献したいですね。

日本代表への想いは？

今は考えていません。チームのためにしっかりと戦って、その先に代表があると思っています。代表に選ばれるためにチームでプレーするわけではないです。とにかく今は、フォルトウナのために全力を尽くすことです。

フォルトウナファンにメッセージ。

これまでに色々なクラブでプレーしてきましたが、フォルトウナのファンは本当に最高です。どんなに負けても、大敗しても、「下を向くな、次だ！」って言うってくれる。なかなか直接感謝を伝える機会がないんですけど、お世辞じゃなくていつも思っています、このクラブのファンは最高だって。だから、皆さんに勝利を届けられるよう、引き続き全力を尽くします！









# ROUWEN HENNINGS





# FORTUNA-DNA

フォルトウナDNA

»WHO ARE WE?«



## TRADITION

### 伝統・トラディション

ドイツ選手権優勝、ドイツ杯連覇などの輝かしい栄光だけでなく、4部リーグに所属した苦しい時代も含めて、すべてがフォルトウナの歴史であり、我々はその全てを誇りに思う。そしてこのクラブの名前とカラー(赤×白)は普遍的なものである。



## HEIMAT

### 故郷・ホームタウン

我々のホームタウンはデュッセルドルフであり、この街とは深い関係性が存在する。この街のクラブとして社会的な責任を持ち、地元との繋がりを大切に、様々なプロジェクトを支援する。この地域出身の優れた人間性を有する選手育成に注力することが、このクラブの将来の基礎を作り上げていく上で重要な要素となる。



## GEMEINSCHAFT

### コミュニティ

我々のクラブはフォルトウナの名の下に、会員総会を最も重要な決定機関とする。そしてどのような背景を持っていても、我々はクラブへの愛と情熱で繋がっている。ファンや会員の存在がこのクラブの柱であり、だからこそファン文化を大切に、彼らと定期的な意見交換を行いながら、友好関係を構築していく。



## RESPEKT

### 尊重・リスペクト

我々は社会的に大きな責任を持っていることを自覚し、それを喜んで受け入れる。我々のホームスタジアムでは人種差別的、法律のおよび異文化的な欲望、差別的または非人道的な行動を取る者が存在することを認めない。そのためには様々なソーシャルプロジェクトも支援するし、同じ価値観を共有する者は歓迎する。またリスペクトを伴ったものであれば、我々に対する批判も受け入れる。

フォルトウナはこの街の人たちのクラブである。その原点に立ち返り、この街の人たちが求めるフォルトウナ像を知るために、3年間かけて3000人以上に様々なアンケートやインタビューを実施した。そして得られた回答から、新しくフォルトウナのガイドラインと標語「フォルトウナDNA」がまとめられた。これがフォルトウナの目指すべき姿だ。

## »HOW ARE WE?«

### MIT ECKEN UND KANTEN

**強い信念を持って進む**

我々は思い通りにいかないときも、自分たちの道を見失わない。波乱の時代を共に歩んできた我々は、様々な経験の中で一喜一憂しながら、それでも常に必死に生き抜いてきた。それが我々の歴史であり、我々がみんな経験してきた財産であり、それが我々の等身大の姿である。



### MUTIG

**勇気を持って挑む**

我々は常にどんなときも勇気を持って全力を尽くす。我々の歴史には栄光と苦悩の時代が存在するが、どんなときも諦めることなく立ち上がり、前を向いてそして這い上がってきた。それら苦しい経験は、逆に我々の関係性をより強固なものにした。我々はどのリーグに所属していても、常に全力で勇気を持って挑み続け、そしてその結果を受け入れていく。



### LEIDENSFÄHIG

**痛みも乗り越える**

長年ともに歩んできた我々は、人生においてなにも恐れることはない。我々は土砂降りの雨のような中でもいつもと変わらず応援し続けるし、どんな戦いにも喜んで挑んでいく。そしてそれがどんなに強靱な相手で、ときには痛みを伴う結果になるとしても、決して諦めることなく、泥臭く戦うことを忘れない。



### HUMORVOLL

**ユーモアを忘れない**

我々の特性はピッチの上だけではなく、そのキャラクターにもある。我々が望むような結果が常に得られるわけではないが、誰もがその中でベストを尽くすことを知っている。どんな苦しいときも、決して我々はユーモアを損なわず、どんな結果になったとしても笑顔を保つ。







**U23**

## **三宅海斗** KAITO MIYAKE / U23





# 4試合連続3得点で破竹の4連勝！

## Vierter Drei-Tore-Sieg in Folge!

U23チームの勢いが止まらない。4試合連続で3得点を奪うなど攻撃陣が機能し、4連勝を達成すると共に、その順位も7位まで上昇させているが、同チームに所属する三宅海斗は、ここまでチームトップタイの6得点を挙げるなど、好調を維持している。

17節が終わった時点で、レギオナルリーガ・ウェスト(ドイツ4部リーグ)の7位に位置しているU23チームだが、その中でもひと際輝きを放っているのが、三宅海斗(21歳)だ。フォルトウナで2シーズン目を迎える若きサイドアタッカーは、ここまでチームトップタイの6得点を記録するなど、好調の攻撃陣を牽引している。ニコ・ミヒャティ監督からの信頼も大きく、出場停止と体調不良で欠場した2試合を除く15試合で先発出場を果たすなど、チームに欠かせない選手に成長している。

シーズン開幕からの13試合では、3勝6敗4分となかなか勝ち点を積み重ねることができず、順位も18チーム中14位(15位から降格圏)と、苦しい戦いが続いていたU23チーム。その中でも三宅は4試合連続ゴールを決めるなど、着実にチームの中でその存在価値を高めてきた。

そしてチームにとっての転機が訪れる。1週間で3試合を行う“イングリッシュウィーク”で攻撃陣の歯車が噛み合い出すと、ラインダービーとなった1.FCケルン II、そして伝統の一戦でもあるヴッパーターラーSVとの連戦で、ともに打ち合いを制して

3-2で競り勝つと、続くホームでのTVヘルケンラート戦でも3得点を奪って、3-0の快勝を収めることに成功した。

そして5000人を超える観客が見守った、アウエーでのロート・ヴァイス・エッセン戦でも、“ヤングフォルトウナ”の攻撃陣が爆発する。先制こそ奪われるも、前半のうちに追いつくと、後半にも2点を追加し、終わってみれば3-1の大逆転勝利を収めることに。これにより、4試合連続3得点を記録したチームは4連勝を飾るとともに、順位も7位にまで上昇させている。







## アペルkamp真大 SHINTA APPELKAMP / U19





# アペルカンプが得点力でチームを牽引。

## Kapitän Appelkamp bester Torschütze der U19

今シーズン、アペルカンプ真大(18歳)はU19チームでキャプテンを任されている。確かな技術でチームの中心を担うサムライMFは、これまでにチーム最多の6得点を決めるなど、名実ともにチームを牽引する存在となっているが、一方で更なる成長に期待がかかっている。

フォルトウナに加入して4シーズン目を迎えるアペルカンプは、ユースアカデミーが定期的に行っている(U16チームからU23チームに所属するトップタレントを集めたチームをトップチームスタッフが指導する)タレントチームトレーニングにも毎回参加するなど、クラブからも期待される存在だ。一方でU19チームのジュニャ・シュカ監督は、「これから成人のサッカーに順応していくためには、もっと闘争心を持って、激しいサッカーができるようになってはならない」と、更なる成長を求めている。

昨年よりU19チームに所属し、今年は同チームで2シーズン目を迎えているアペルカンプだが、今季はチームキャプテンという新しい任務が加わった。キャプテンマークを巻くことで、これまで以上に責任感を持って、チームを牽引していかなくてはならない。大人しいアペルカンプの性格を見抜いた上でのシュカ監督の決断だが、若き日独ハーフMFは早速、得点という形で期待に応え始めている。ここまでの11試合で6得点を決めるなど、チーム最多の得点を記録しているのだ。

一方でチームはなかなか結果を出すことができていない。第11節のSVローディングハウゼンに3-0で勝利し、ようやく今季3勝目を収めたが、順位は14チーム中8位と、まだまだ満足いくものではない。ここまでの黒星を喫した4試合は、全てが1点差の敗戦となっており、引き分けた4試合のうち3試合は、リードしながら追いつかれるという展開だ。つまり接戦に弱いという課題が浮き彫りになっている。今後、キャプテンであるアペルカンプを中心に、その部分をしっかりと改善し、勝ち星を重ねられるチームに成長していくことに期待したい。





# ドイツ杯3回戦の相手はFCシャルケ04に決定!

## Fortuna trifft im Achtelfinale auf den FC Schalke 04!

フォルトゥナはドイツ杯2回戦でSSVウルムとの対戦し、5-1の勝利を収めた。開始13秒に失点するも、前半のうちにルケバキオの2得点1アシストなどで逆転に成功すると、後半にも追加点を挙げて3回戦進出を果たした。なお3回戦は抽選の結果、アウェーにてFCシャルケ04との対戦に決定した。



1回戦で昨年のドイツ杯覇者アイントラハト・フランクフルトを破るというジャイアントキリングを果たしたSSVウルム(ドイツ4部リーグ所属)と対戦したフォルトゥナのフンケル監督は、4-4-2のシステムを採用してキックオフを迎えた。

しかし試合は思わぬ形で幕を開ける。開始から13秒、ギーゼルマンのパスミスからボールを奪われると、相手FWのシュートがロビン・ボアムートの足に当たり、フォルトゥナゴールに吸い込まれてし

まう。立ち上がりには1点のビハインドを負ったフォルトゥナだったが、そこから慌てずに試合をコントロールし始めると、右サイドでパスを受けた宇佐美が中央へ正確なセンタリングを上げる。そしてこれをドウクシュが頭で合わせて、試合を振り出しに戻すことに(14分)。さらに33分には、ルケバキオの折り返しにヘニングスが合わせて、逆転に成功する。その後も右サイドで圧倒的なスピードとテクニックで輝きを放つルケバキオは、37分、44分には自らミドル

シュートを決めるなど、前半のうちに2ゴール1アシストを記録し、マンオブザマッチの活躍を見せる。試合は結局、後半にもドウクシュが自身2点目を決め、5-1でフォルトゥナに軍配が上がりとともに、2012/13シーズン以来となる3回戦進出を果たすこととなった。

なお続く3回戦は抽選の結果、アウェーでFCシャルケ04戦に決定。この試合は2月6日(水)の20:45にキックオフを迎えることになる。



ドイツ杯3回戦



2019年2月/ 6日(水) 20:45

# SUSHI KIKAKU

SEIT 1975

フォルトウナで奮闘する  
3人の日本人選手を  
全力で応援します!

## Restaurant KIKAKU

Klosterstraße 38, 40211 Düsseldorf

Tel: 0211 357853

[www.kikaku.de](http://www.kikaku.de)

 **CLASEN**  
≡ wo drucken zuhause ist. ≡

Willkommen in der Welt der Farben, Papiere und Druckveredelung. Wir achten darauf, dass sich Funktion, Haptik, Ästhetik und Wirtschaftlichkeit optimal ergänzen. Ihr Design und unsere drucktechnische Kompetenz führen zu perfekten Ergebnissen.

Ob stanzen, prägen, laminieren, lackieren, einen Farbschnitt aufbringen, wir machen fast alles möglich. Wir drucken bis 70 x 100 cm im Offset oder digital mit modernster Technik.

Dicken Karton, Sonderfarben, Hybridprodukte. Mit Bemusterung vorab, mit Druckabnahme, mit dokumentierter Qualitätskontrolle. Auch über Nacht. Auch bis ans andere Ende der Welt. Unser Standort befindet sich 1 km vom Flughafen und der Messe Düsseldorf.

Wer bei uns drucken lässt? Natürlich die Fortuna, die DEG und weitere große Sportvereine. Bekannte Werbeagenturen fühlen sich bei uns wegen der hohen Termintreue wohl. Industriekunden schätzen unsere Beratung und Qualität. Die Stadt und der öffentliche Dienst mag unsere Preise.

Wir sind PSO- (ISO 12647) und FSC®-zertifiziert, drucken klimaneutral und alkoholreduziert (IPA) und erzeugen Strom per Photovoltaik.

**Clasen GmbH**  
Spielberger Weg 66  
40474 Düsseldorf

**Fon 0211-447290-0**  
**Fax 0211-447290-60**  
**mail@druckerei-clasen**  
**[www.druckerei-clasen.de](http://www.druckerei-clasen.de)**



# THE FUTURE OF CITIES IS OPEN TO SUGGESTIONS

街の未来は、オープンだ。  
アイデアで変えられる。

日々の大切な瞬間を逃すことがないように。日立は協創を通じて、誰もがもっとスムーズに移動できる都市をめざしています。日立ならではのOT(制御・運用技術)とITを生かし、IoTプラットフォームで街中のデータを分析。人やモノの動きを予測し、柔軟に変化するシステムをつくることもソリューションのひとつです。日立はさらに社会イノベーションを加速し、街の未来を、そして人々の暮らしを大きく変えていきます。

[social-innovation.hitachi](https://social-innovation.hitachi)

**Hitachi Social Innovation**

